

ヨーロッパ宇宙局が記者会見を行い、かつて前例のない発見を発表

同南観測所が“これまでに目撃されたことのない画期的な観察”を明かす

【訳者注】この「我々自身についての考え方を変えてしまう」発見とは、何であるかわからない（10月16日に明らかになるらしい）。しかし、これが「惑星X」とか「ニビル」とか呼ばれているナゾの天体を、これまでその存在を否定していたNASAも一緒になって、これを公式発表するということであるなら、確かに何重もの意味で画期的なことである。なぜなら、この天体は大昔から、秘密結社の秘密の、知られてはならない最も重要なものであったらしく（太陽が2つある古代の画像がある）、現在でも、惑星Xを研究する学者が次々と殺されているからである。<http://www.nnettle.com/features/1205-blackout-scientists-who-discovered-planet-x-all-found-dead>（報道管制：惑星Xを発見した科学者のすべてが死んで発見されている）

なぜだろうか？ なぜ殺さなければならないのだろうか？ 何かを「知りすぎた」としたら、何を知りすぎたのだろうか？ もし、知っておられる方があればご教示願いたい。

日本人にもその被害者がいる。何年前か、お名前は忘れたが、名古屋大学から国立天文台へ行かれ、そこからチリ天文台へ移り、チームで惑星Xを観測しておられた。ところがある日、出勤途上で“金目当ての”強盗に襲われ殺された、という記事が出た。研究所へ向かう学者を、金目当てで殺す馬鹿な強盗がいるだろうか？！

Jay Greenberg, www.nnettle.com

October 12, 2017



ヨーロッパ南天文観測所（ESO）が記者会見を要求し、世界に伝えるべき“これまでに前例のない発見”をしたと話した。

ESO は、「宇宙にこれまで見られたことのない、革命的な発見をした」ので、「天文学的現象のこの画期的な観測結果を発表する用意をしている」と話した。

チリの天文観測所複合体の研究者たちは、我々の宇宙の見方を永久に変えてしまうような、ある天文学的現象を目撃していると言っている。

当宇宙局は、この時点では、あまり多くを発表するつもりはなく、「これまでに宇宙で目撃されたことのない」ある発見の証拠を提示するにとどめる、と述べた。

<http://www.nnettle.com/tags/space>

Daily Galaxy によれば、この発見の詳細は、来週、10月16日、16:00 CEST、ドイツの Garching の ESO 本部の記者会見で、発表される予定である。

http://www.dailygalaxy.com/my_weblog/2017/10/eso-mystery-to-be-unveiled-european-southern-observatory-has-made-a-revolutionary-discovery-never-se-1.html

この会見は、チリの ESO パラナル天文観測所から、Xavier Barcons 所長によって行われ、ヨーロッパ中の多くの研究グループ代表による、スピーチが予定されている。

天文学者たちがこの種の画期的な発見を明らかにした、前回の例は、NASA の科学者たちが、エンケラドス（土星衛星）とエウロパ（木星衛星）上にプルーム（plume）を目撃したとき、また、LIGO（Laser Interferometer Gravitational-Wave 観測所）が、結合するブラックホールから重力波を発見し、天文学に新しい時代を招来し、かつて見られなかった“暗黒”宇宙を見られるようにした時だった。

<https://youtu.be/DnlkWrVbXPO> (A Bird's Eye View of ESO Observatories)

アメリカからのスピーカーには、David Reitze (LIGO 研究所所長/Caltech)、Julie McEnery (フェルミ研究所科学者、NASA の Goddard Space Flight Center) および Jo van den Brand (Virgo Collaboration スポークスマン) がいる。<http://www.nnettle.com/tags/nasa>

この発見の詳細は、公式アナウンスの先は秘密のままだが、ある ESO のスポークスマンは、この発表は「ほとんどの人が生涯で知る最大のニュース」であり、「我々の存在全体につい

ての我々の考え方を変える」ものになると言った。